

感震ブレイカー設置申込み受付

ご存知のように茅ヶ崎市は全国有数のクラスター火災警戒地区を擁しており、家庭用火災報知器の設置は既に消防法で義務付けられています。この度、地震の際の通電火災を防ぐために、感震ブレイカーの設置を推進する市の事業が始まり、補助金が支給されることになりました。

市の補助事業は、感震ブレイカーの新設に対応し、一般の家庭で今使っている電気ブレーカーに、設置するための購入費用を半額補助するものです。



茅ヶ崎市補助金制度

香川・地域防犯カメラを設置します！

神奈川県は地域の防犯活動団体が行う防犯カメラ設置に対して、これまでは直接補助を行っていましたが、平成28年度以降、市町村が行う補助事業の一部を間接的に補助する仕組みに変更しました。

香川自治会は、市としてこの制度変更を受け創設した、地域防犯カメラ設置事業補助制度に対応し、7月27日に12台の防犯カメラ設置申請を行い受理されました。

10月2日に、市より補助金交付の回答を得ましたが、市予算では12台の申請に対し全数への設置補助が認められましたが、県での決定は8台となりました。これにより約500万円の設置費用の内、市の補助金約100万円、県の

初年度の今回は、とりあえずハネ式の感震ブレイカー50個を香川自治会として申請しました。

町内会毎に設置の申し込みを募集しますが、数に限りがあるため申し込みが多くなった場合は、抽選になると思います。

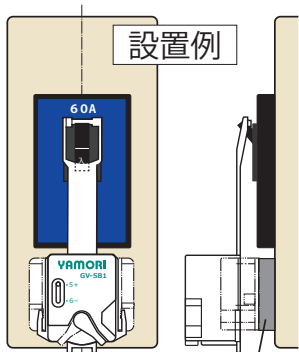
なお、申し込みの方には個人負担として千円をお預かりしますが、自治会の助成事業として後日返却いたします。

また、本体は誰にでも簡単に取付けられると言うことですが、多少の作業が必要で、このため、設置に際し取付を業者に依頼したいという方に対して、工事費を自治会が助成する準備を進めています。

この補助事業は来年度以降も継続される予定ですので、今回見送り付けられると言うことですが、

つた方は、次年度に向けて別途回覧される募集案内で詳細をご検討の上、是非お申し込みください。今年度の各地区への認定数は左記のとおりで、市予算の関係で減数されている地区もあります。

地区	認定数
茅ヶ崎	48個
茅ヶ崎南	120個
海岸	800個
湘南	200個
松浪	21個
湘北	55個
(香川150・甘沼5)	
小出	50個



この例では要スペース

- 補助金約150万円となり、目論見より70万円ほど減額となりましたが、残金の250万円を香川自治会として負担し、12台の防犯カメラの設置を進めることになりました。
- 施工保守業者
- 杉本産業株式会社 (本社川崎)
- 茅ヶ崎営業所 (矢畑)
- 機器メーカー
- 株式会社 NSK (本社名古屋)

●設置場所について

これまでに行政や茅ヶ崎警察署および東電等と設置場所について協議を行い、次の場所に設置を予定しています。

- 1 香川駅西側静岡中央銀行前広場
- 2 香川小学校正門北側五叉路
- 3 香川自治会館

設置のイメージ図



- 4 浄心寺南側角地
- 5 香川駅北側踏切郵便局周辺
- 6 香川第2つじハイム西又は東側
- 7 茅ヶ崎市役所香川出張所
- 8 香川堂庭公園 (第3青少年広場)
- 9 香川第1・第2公園
- 10 香川公民館
- 11 香川ゆうゆう公園
- 12 香川原公園

ごみ収集の変遷について 考えてみよう！

香川ごみ通信 14

日頃、自治会員の皆様には、ごみ集積所の管理運営にご理解と実践をしていただき感謝申し上げます。特に自治会活動で一番身近で毎日かかわるのが、「ごみと資源物の問題」です。このことから「広報かがわ」に毎号投稿をしてみました。

併当箱の包装紙として有効活用していただきました。

昭和32年茅ヶ崎市で塵芥焼却場が新設され、それまで全てが埋立処分されていたものの一部が、焼却処分に対応変更されました。

●まだアルミ缶はなく、缶詰の缶は何かの入れ物に利用するか鉄屑で、ほととげばボロボロになって土に戻る、という感覚でした。

●燃えるごみ、生ごみは自宅の庭で燃やしたり、理めたりして地中の微生物処理に任せ、肥料やたい肥として利用していました。雑木などは、ほとんどの家庭がかまどや七輪、風呂などの燃料として自宅処分をしていました。ビン類は入れ物として再利用し、割れば地中に埋めていました。

▼昭和40年代に入り団地建設の進展に伴い、可燃ごみの全市収集を開始。生ごみ(週2回)と粗大ごみ(3ヶ月に1回)の収集でした。

●高齢者70歳以上の人は経験があると思いますが、戦後都会では焼け跡から電線(銅)や水道管(昔は鉛だった)あるいは鉄屑などの金属をかき集めて屑屋に売り、子供のお小遣いになっていました。

●家庭で処分できない物は、空き地や雑木林の隅に置かせていただき行政が年に1~2回、回収して集積所の原点になっていました。

▼平成23年にはびん、かん、ペットボトルがコンテナネットによる収集に進化してきました。現在はご承知の通り、使用済小型家電などまで4種12分別収集となっています。

●新聞紙は魚屋さん、八百屋さん

●この続きは、次号以降に掲載してまいります。(環境部会)

NEWS

最近の自治会活動から

香川商興会の街路灯が撤去に

1960年代に創立された香川商興会。香川を明るく安全なまちに見守ってくれていた商興会の街路灯が、設置から年数が経過し、寿命でランプ部分が落下する事態が発生しました。

撤去されました。街路灯の撤去により暗くなったエリアには、優先して防犯灯の設置を推進してまいります。

安否確認訓練がテレビ放映される

ハーモニクス茅ヶ崎の番組で、安否確認訓練の様子が第二町内会と災害本部の様子を中心に10分程放映されました。

後日、録画されたDVDを市より借用し香川自治会および町内会で上映・紹介しました。

なお、今回の訓練には市の職員3名が訓練後の反省会にまで参加され、次回の訓練時には市として香川小学校を災害拠点に設定し、香川自治会の訓練に連携させたい



市の職員も参加

休日隊 パトロール 隊員・募集中

時間：14時～16時
活動：4～6人体制で
毎月第二土曜日限定
連絡先：防犯部会
会長 武田 久弘
電話：51-3845